

平成25年度予算額

会計名	予算額	対前年度伸び率
一般会計	391億2,400万円	6.1%
国民健康保険事業特別会計	134億1,512万1,000円	0.8%
下水道事業特別会計	30億4,044万5,000円	8.7%
介護保険事業特別会計	59億1,535万9,000円	6.7%
後期高齢者医療事業特別会計	11億4,206万2,000円	6.2%
合計	626億3,698万7,000円	5.1%

次代へつなぐ新たなまちづくり
25年度 元気な海老名を継続する予算

第四次総合計画の将来都市像、「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」の実現に向け、「今の海老名市に何が必要なのか」そして、「将来の海老名市のために今何をすべきか」という視点に立ち、各事業の必要性や費用対効果を見極め、持続可能な都市経営の理念に基づいた予算編成に取り組んだ25年度予算。主要事業を中心にその概要をお知らせします。

●まちづくりを進めると貯金(基金)が減って、借金(市債)が増えるけど大丈夫？
23年度決算では、県内市の中で市民1人あたりの基金は3番目に多く、市債は一番少ないという結果になっており、まだ十分に活用する余地があると言えます。



●まちづくりを進めているのはなぜ？
今後さらに少子高齢社会が進行しても、市民サービスを低下させないようにするための先行投資として、「次代へつなぐ新たなまちづくり」を推進しているからです。

●民生費はなぜこんなに多い？
少子高齢化や景気低迷などにより、生活保護費や社会保障に関する制度や対象者が増えているからです。これは海老名だけでなく、全国的な傾向です。

●海老名の財政状況は？
23年度の決算を踏まえた本市の財政状況を見ると、歳入については長引く景気低迷の影響などにより、市税が4年連続で減少しています。一方、歳出については人件費と公債費は減少しているものの、児童手当や生活保護費などの扶助費が増加しています。
また、大幅な税収の増加は見込めないことから、今後は財政の硬直化(※)が進行することが懸念されています。
(※) 財政の硬直化：経常的に支出する経費の増加などにより、財政運営の自由度が低下し、弾力的な財政運営が困難になること。

